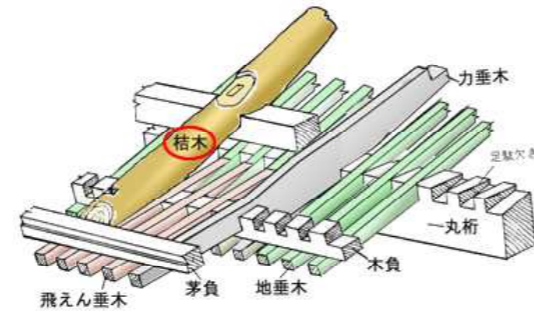


図説 浄蓮寺本堂・山門改修工事資料①



1-①-イ 柱が傾いて、襖や戸との間に隙間ができています。



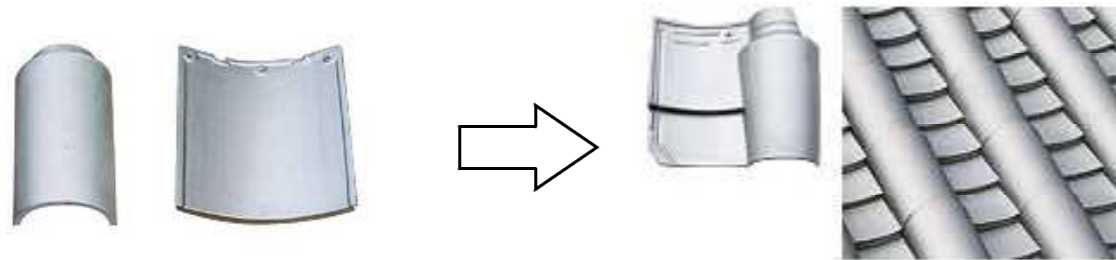
1-①-ロ 不足の榑木(ハネギ)の補充。



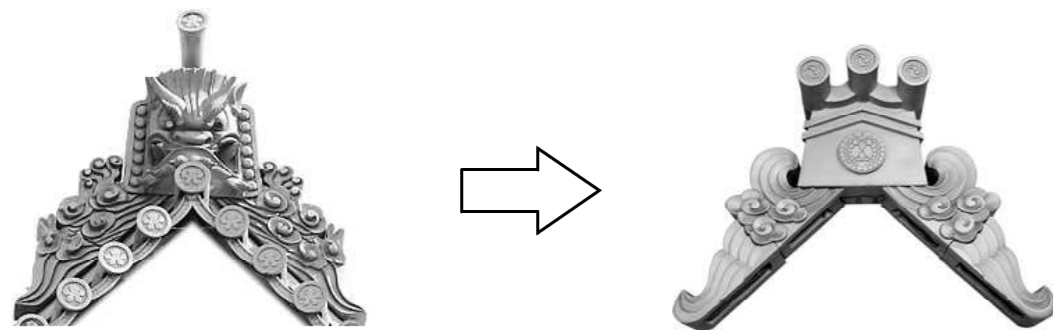
1-①-ハ 前面隅のサッシ戸を、筋違を入れた壁に。



1-④-ハ 本堂屋根垂木(たるき)を一軒(ひとのき)から、鐘楼屋根のような二軒(ふたのき)へ。



1-②-イ 現在の本葺瓦から一体瓦へ。



1-②-ロ 現在の鬼瓦を、経の巻瓦へ。

図説 浄蓮寺本堂・山門改修工事資料②



1-③-イ 腐朽が進む本堂柱



2-⑥ 玉眼が潰れて、空洞になった山門の象・獅子の彫刻。



1-④-イ 竿縁(さおぶち)天井を格天井(ごうてんじょう)へ



2-④ 余間の仕切り戸を洋風から和風(金襖)へ



今、京都を中心に全国的に活躍中の人気「壁絵・襖絵師」：木村英輝氏に浄蓮寺オリジナルの襖絵を依頼。上記写真は氏の製作による京都青蓮院門跡の襖絵。浄蓮寺の場合は本堂内陣であることから、金襖の上に描かれる。